



三菱ハウジングエアコン 別売 床置用ドレンアップメカ
 形名 MAC-862DM
据付工事説明書 販売店・工事店さま用

用語集

品名	形名
置台	MAC-311TD
背面パネル	MAC-316HP

- このドレンアップメカは床置形機種 MFZ-K / MFZ-HKシリーズ専用部品です。
- ドレン配管の下りこう配が十分確保できない場合にお使いください。
- 本製品の使用には、別売部品の置台と、背面パネルが必要です。
※本製品だけの使用はできません。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事前にこの据付工事説明書と室内機および別売部品の置台、背面パネルの据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
 据付けには専門の知識と技術が必要です。
 お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に進行。
 据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
 ケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に進行。
 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



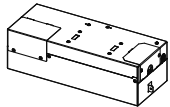
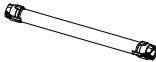
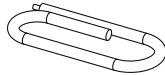


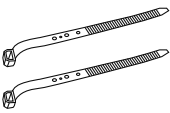

注意

(誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの)



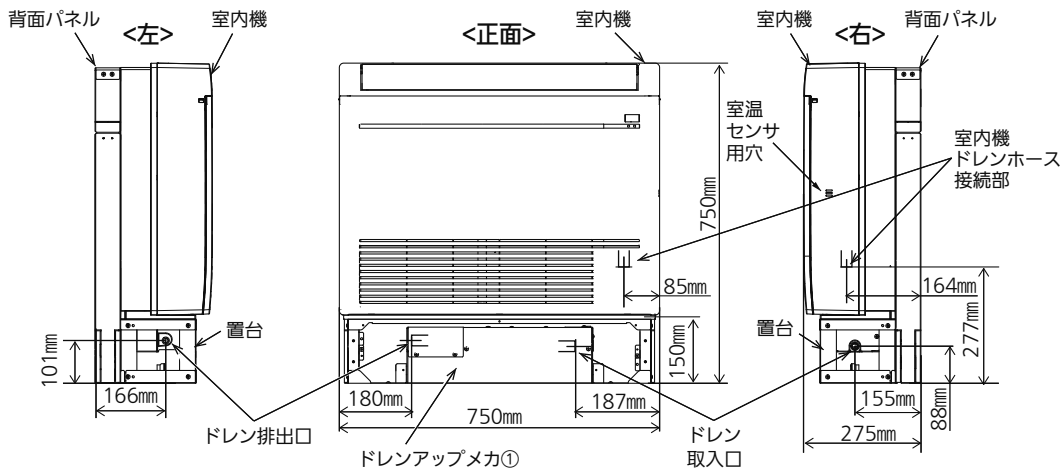
■ドレン・配管工事は、据付工事説明書に従って確実に進行。
 ドレン・配管工事に不備があると、ユニットから水が滴下して家財などを濡らし、汚損の原因になります。

使用部品

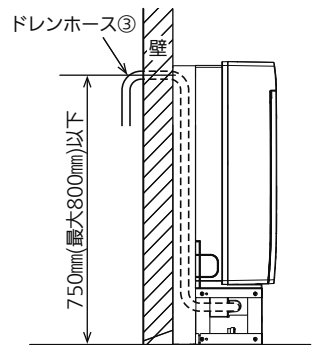
部品	① ドレンアップメカ 	② ドレンホース 室内機～ ドレンアップメカ接続用 	③ ドレンホース ドレンアップメカ～ 現地配管接続用 	④ アース線 	⑤ ドレンアップメカ 固定用ネジ  (タッピングネジ4×10)
個数	1	1	1	1	2
部品	⑥ ホース固定用バンド 	⑦ バンド固定用ネジ  (タッピングネジ4×25)			
個数	2	2			

- 現地で準備していただくもの
 ① 塩ビ系接着剤 ② 延長ドレンホース、軟質塩ビホース(内径:15mm)

設置構成図および設置スペース必要寸法



●ドレン立上げ可能高さ
ドレンアップメカ底面(床面)
より800mm以下
※置台使用時のユニット高さは
750mmです

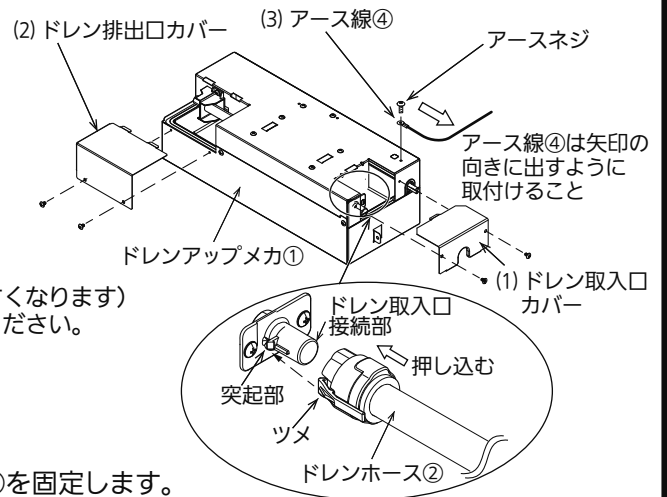


1 事前準備

<ドレンアップメカ>

(1) ドレンホース②の接続

- 1) ドレン取入口カバーのネジを取外し、カバーを取外します。
- 2) ドレンホース②をドレンアップメカ①のドレン取入口に差込みます。
 - ドレンホース②の両端は同形状です。室内機側、ドレンアップメカ側どちらにも取付けられます。
 - 水漏れを防ぐために挿入が固くなっています。ドレンアップメカ①のドレン取入口接続部にある突起にドレンホース②のツメを確実に「カチッ」とはまるまで押込んでください。(ドレンホース②を左右に少し振りながら前に押込むとはまりやすくなります)
 - ドレンホース②を取付け後、引っ張って抜けないことを確認してください。
- 3) ドレン取入口カバーを取付け、ネジで固定してください。



(2) ドレン排出口カバーの取外し

ドレン排出口カバーのネジを取外し、カバーを取外します。

(3) アース線④の取付け

ドレンアップメカ①に取付けられているアースネジでアース線④を固定します。

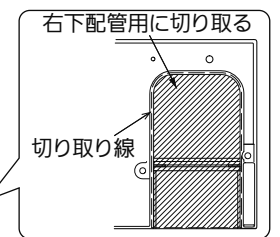
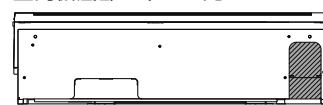
<置台、背面パネル>

置台、背面パネルの据付工事説明書に従って設置場所に固定します。

<室内機>

室内機右底部を右下配管用に切り取ります。

室内機底部を下から見たところ

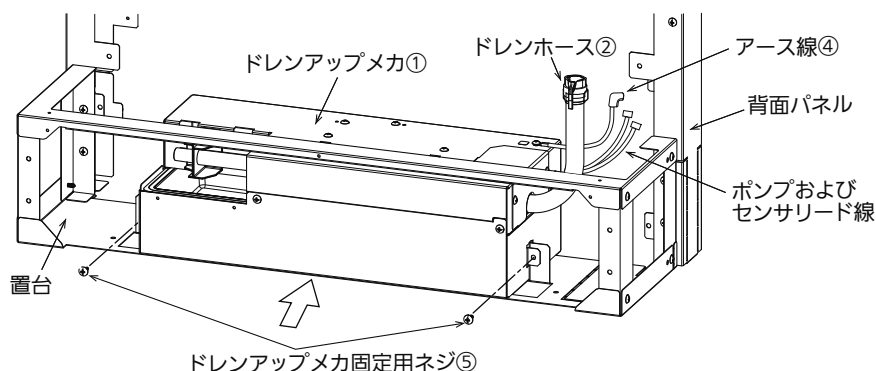


2 ドレンアップメカの取付け

(1) ドレンアップメカ①の取付け(室内機を設置する前に実施してください)

ドレンアップメカ①を図のように前方より挿入させて置台内に設置した後、ドレンアップメカ固定用ネジ⑤で固定してください。

●ドレンホース②、ポンプおよびセンサのリード線、アース線④は **3 室内機の設定** の際に室内機設置の妨げにならないようにしてください。



(2) ドレンホース③の接続

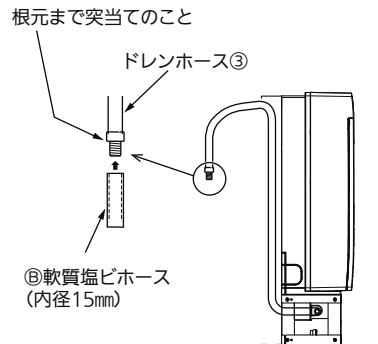
ドレンホース③は現地配管からの取回し完了後にドレンアップメカ側を切断し、長さを調整してください。その後、④塩ビ系接着剤を塗布し、ドレン排出口接続部の根元まで差込み、漏れないように接着してください。

(3) ドレンホース③の固定

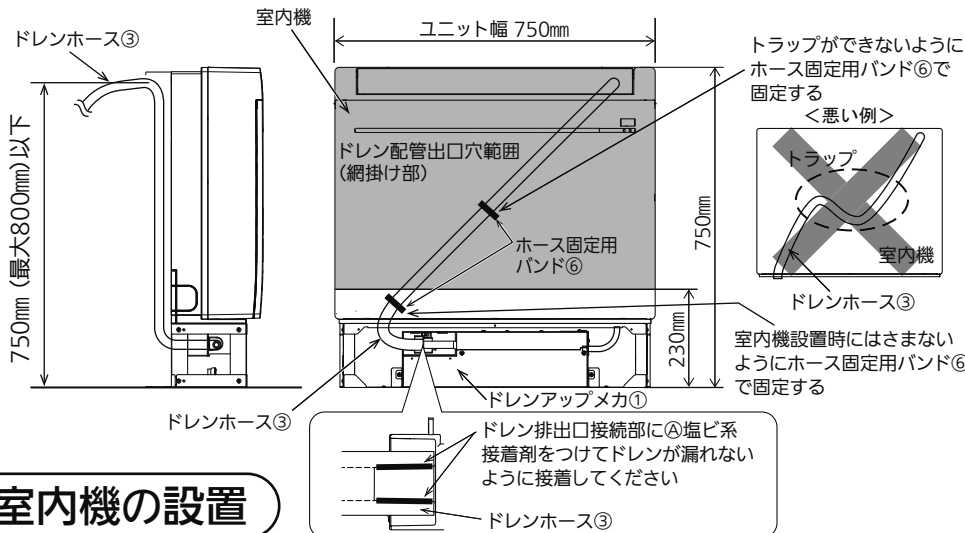
1) ホース固定用バンド⑥をバンド固定用ネジ⑦で壁に固定します。(2か所)

2) ドレンホース③をホース固定用バンド⑥で固定します。

- ドレン配管の出口高さは下図の範囲内で施工してください。
- ドレンホース③は途中にトラップを作らないように固定してください。
- ドレンホース③は室内機設置時にはさまないように固定してください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生するおそれのない場所に設置してください。
- ドレン出口を立上げた後、下りこう配1/100以上になるように施工してください。
- ドレンホース③が短い場合は、右図の方法で配管してください。

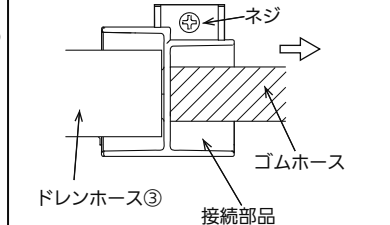


⑥軟質塩ビホース (内径15mm)



ドレンホース③を接着後に、ドレンアップメカ①を取外す場合

ドレンホース③を接着後に、ドレンアップメカ①を取外す場合、以下のように作業してください。
 ア. ゴムホースを引っ張って接続部品から取外します。
 イ. 接続部品のネジを取外します。
 ウ. ドレンホース③と接続部品をドレンアップメカ①から取外した後、ドレンアップメカ①を取外します。
 ※ドレンホース③は接続部品から外さないでください。



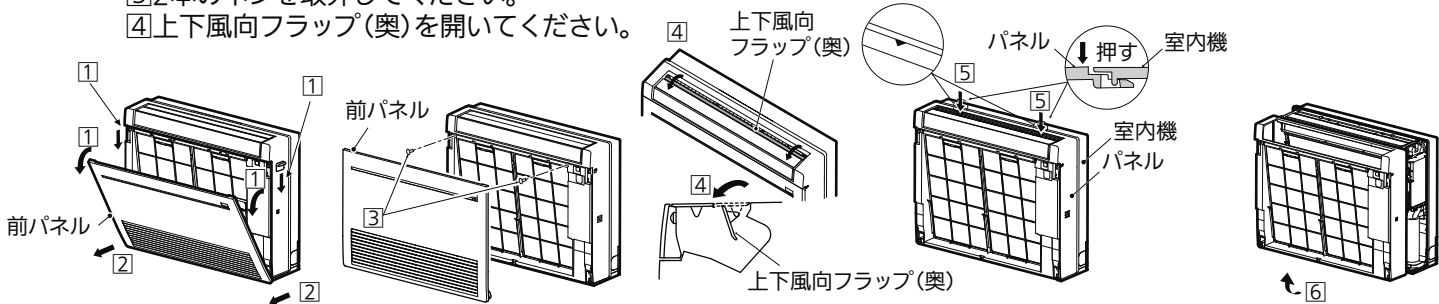
3 室内機の設置

お願い

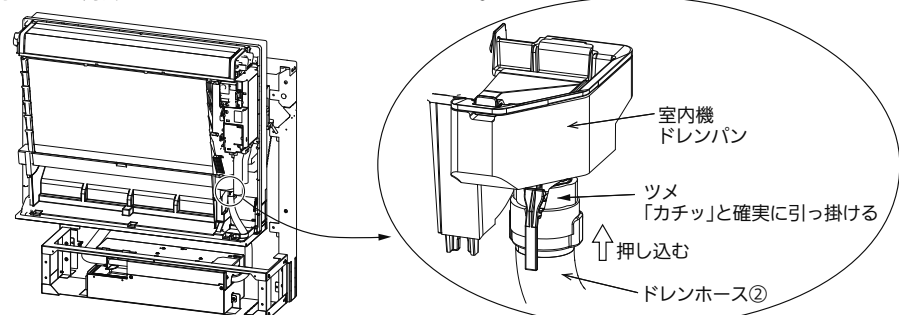
室内機設置の詳細については室内機および置台、背面パネルの据付工事説明書をご覧ください。

(1) 室内機の前パネルとパネルを①～⑥の手順で取外します。

- ①パネル左右側面にあるツマミを下げながら前パネルを手前に開いてください。
- ②前パネルを取外してください。
- ③2本のネジを取外してください。
- ④上下風向フラップ(奥)を開いてください。
- ⑤パネルの上面2か所(▼マーク部分)を押し、パネルの上側を外して手前に引いてください。
- ⑥パネルを上を持ち上げながら、取外してください。



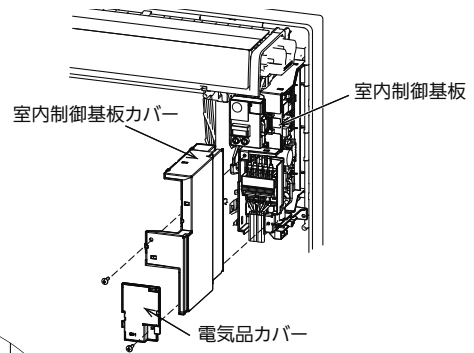
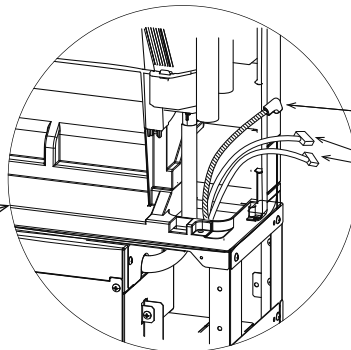
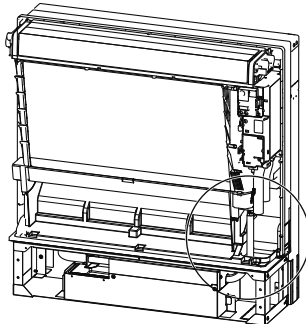
- (2) 室内機のドレンホースを取外します。
- (3) ドレンホース②、ドレンホース③、アース線④、ポンプおよびセンサのリード線に注意し、室内機を置台、背面パネルに固定します。
- (4) ドレンホース②を室内機ドレンパンの接続部に接続します。このとき、室内機ドレンパンの接続部にある突起に、ドレンホース②のツメを確実に引っ掛けてください。
 - ドレンホース②を引っ張って、抜けないことを確認してください。



4 ドレンアップメカの配線接続

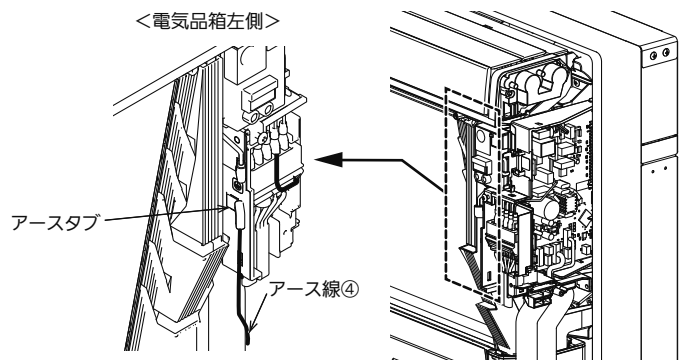
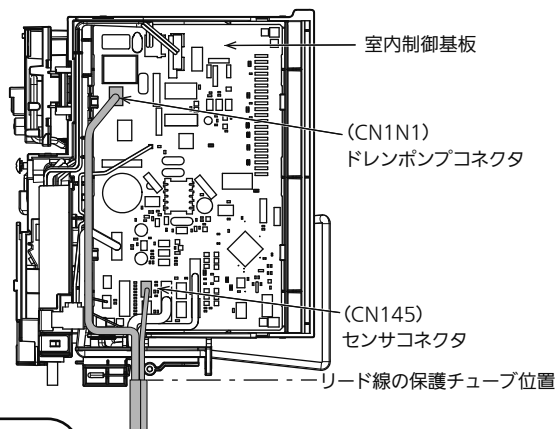
- 接続はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- 静電気による室内制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

- (1) 室内機の電気品カバーと室内制御基板カバーのネジを取外し、電気品カバーと室内制御基板カバーを取外します。
- (2) ドレンアップメカ①から出ているドレンポンプとセンサのリード線とアース線④を室内機の右下配管用の穴から通し、室内機側に出します。



アース線④
ポンプおよび
センサリード線

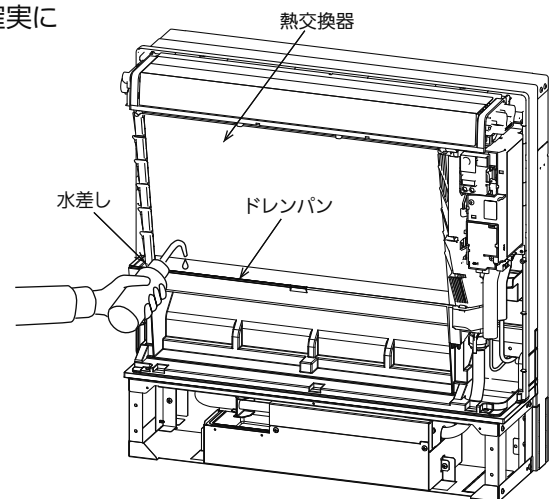
- (3) ドレンポンプのコネクタを室内制御基板上のコネクタ(CN1N1)へ接続します。
- (4) センサのコネクタを室内制御基板上のコネクタ(CN145)へ接続します。
- (5) アース線④のタブを電気品箱左側にあるタブに差込みます。
 - コネクタおよびタブはロックが「カチッ」とはまるまで、しっかりと押し込んで接続します。
- (6) リード線は下図のように取回してください。
- (7) 接続作業が終わったら室内制御基板カバーと電気品カバーを取付け、室内制御基板カバーと電気品カバーのネジを固定してください。
 - 室内制御基板カバーを取付ける際に、リード線をはさまないようにしてください。



5 試運転

ドレンアップメカ①の取付けおよびドレン配管・電源工事完了後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れが無いことを確認してください。

- 室内機の据付工事説明書の(試運転)の項とあわせて行ってください。
 - はじめに冷房で試運転を実施してください。
- (1) 700cc~800ccぐらいの水を図のように熱交換器下部のドレンパンに水差しなどで徐々に入れてください。
 - (2) ドレンアップメカ①が作動し、正常に排水するか確認してください。
 - (3) ホース接続部から水が漏れていないことを確認してください。
 - (4) ドレン排出口カバーを取付けてください。
 - (5) 置台のカバーを取付けてください。
 - (6) 室内機のパネルおよび前パネルを取付けてください。



室内機のみでドレン排水チェックをしたい場合

配線工事ができていないときは、室内端子台S1,S2に単相200V電源を接続して行ってください。

- (1) ドレンポンプ試運転モード
 - 「応急運転スイッチ」を5秒長押し(ピッと鳴るまで)にて、ドレンポンプ単独運転を開始します。
- (2) ドレンポンプ試運転モード停止
 - 「応急運転スイッチ」をもう一度押しと停止します。そのままでも、15分後に自動停止します。